

# としょかんへ行こう！

## 新図書館の基本設計が完了しました！

今回の建設通信第6号では、基本設計内容について、お知らせします。

なお、広報みなみそうま（3月15日号）にも図書館建設事業が掲載されていますので、併せてご覧ください。

<駅通り南側から見たイメージ図>



### 夢の図書館 基本設計完了！ 市民検討委員会 会長から一言

新しい図書館の建設にあたっては市民の声をその建設に反映しようと、各分野の方々と公募により集まれた方々で市民検討委員会が作られました。

図書館については長年熱心に研究されている人、本棚が並んでいけばいい程度の認識しか持ち合わせていない人(私です)が、一同に集まって委員会がスタートしました。人の顔がそれぞれ違うように考え方もそれぞれ。

何度か先進地図書館の視察をしたり、討議を重ねてきた結果、考えには違いがあってもひとつの共通のキーワードがあることに気づきました。

それは「いい図書館が欲しい」ということでした。

市の財政が逼迫しているなかで、いかにローコストで、いかに高品質の図書館を作るか限られた会議の回数を委員会内部から自主的に増やし討議を重ねました。

その皆さんの努力と汗の結実としてようやく基本的な設計が出来上がり、あとは一日も早くこの新図書館の完成を願うばかりです。

(図書館建設市民検討委員会 会長 松永雄一氏)

### ～ 建築概要 ～

施設名称	(仮称)南相馬市立図書館
建設地	南相馬市原町区旭町二丁目地内
階数	地上2階、一部3階建て
構造種別	鉄筋コンクリート造・一部鉄骨造
敷地面積	5,650㎡
建築面積	4,252㎡
延床面積	6,717㎡

具体的な施設面積は以下の通りです。

・図書館機能	3,345㎡
・生涯学習機能	1,099㎡
・その他	533㎡
・駐車場	1,740㎡(93台)

### こんな想いで設計しました。 設計者から一言！

図書館は箱ではなくて、活動を支える環境であると言われて30年が経ちました。

そして、図書館は地域全体に張り巡らされたサービス網のことだという理解無く、各地で箱を作ります。結果の格差社会。

将来の知的生活を支える生活基盤としての南相馬市の図書館の形。

どう想像して創造するか、みんなでたくさん議論致しました。

(設計者 ㈱寺田大塚小林計画同人 寺田芳朗氏)



< 施設配置図 >

～ 新図書館 Q&A ～

**Q1 どのくらいの資料が入るのですか？**

A1 開架室全体で23万5千冊（準開架10万冊を含む）を収蔵できます。その他に新聞、雑誌、視聴覚資料があります。閉架書庫は10万冊ですが、将来増設すると、最大で30万冊が収蔵できます。

**Q2 座席数はどのくらい？**

A2 読書席（ソファ含む）は、453席で、屋外読書席は122席です。

**Q3 施設内に様々な部屋があると聞きました！**

A3 図書館内には、児童のための小劇場型お話室、調べ学習授業のできる図書館集会室、複数の読書テラスなどを設けます。さらに、図書館外にボランティアルームにも使用できる創作室、交流広場、情報広場を設けます。

**Q4 集会室はあるのですか？**

A4 集会室は大・中・小、3つの集会室があります。さらに多目的に利用できるマルチメディアホールがあります。図書館資料を使った勉強会や様々な活動に利用できるようになっています。  
 大集会室 机席50席、椅子席100席  
 中集会室 椅子席60席  
 小集会室 机席16席  
 マルチメディアホール 机席84席、椅子席145席

**Q5 新図書館に中央図書館機能があるって聞いたのですが・・・？**

A5 新図書館の中にアウトリーチサービス部門があります。この部門では、3万5千冊の資料が収蔵でき、小高図書館、鹿島図書館、生涯学習センター、学校図書館のための資料となります。配本車で定期的に資料を運ぶことにより、各図書館では常に新しい魅力ある資料を提供することができます。

**基本設計図書を公開しています！**

原町図書館において、基本設計図書を公開しています。皆さんの熱い思い、夢や希望が詰まった基本設計書をぜひ、ご覧ください。

基本設計が終了し、みなさんの夢や希望が形（図面）になりました。来年度は、詳細な部分についての実施設計及び実施計画の策定を行う予定です。

今後も市民のみなさんのご意見等を広く取り入れていきます。

みなさんのご意見・ご要望・ご質問については、いつでも受け付けておりますのでお気軽にご連絡ください。

発行 南相馬市教育委員会  
 生涯学習課 生涯学習推進係  
 TEL 24-5249